



# みやけの里

令和3年度  
三宅小学校 学校だより  
第3号 R3. 6. 18  
発行人 塚本嘉夫



玄関のサフィニア

あおうめ て ね かわずかな こばやし いっさ  
青梅に手をかけて寝る 蛙哉 (小林一茶)

梅雨に実を結んだ青梅に カエルが手をかけて眠っているのは なんと微笑ましいことよ

小さな生き物を愛した俳人はたいへん多く、なかでも有名なのが小林一茶だそうです。この句は、6月の潤いをさわやかにイメージさせ、青梅と蛙が共に仲良く生きているという感じがして、とてもうれしい気持ちになります。(俳句の教科書より)

梅雨の季節になり、だんだん過ごしにくい季節になってきましたが、子どもたちは、一茶の俳句のように、学年問わず仲良く、そして元気に学校生活を送っています。季節それぞれの良さを感じながら、豊かな心を育ててほしいと思っています。



昼休みのキッズルーム 手前は1年生の図工の作品です



右はパラリンピックシンボル「スリーアギトス」アギトスはラテン語で「自ら動く」という意味、困難なことがあってもあきらめずに限界に挑戦し続けるパラリンピアンを表現しています

## トーチが学校にやってきた！

6月4日の児童集会では、なんと東京オリンピック聖火リレーのトーチが登場、入れ物から取り出した瞬間、その美しさに、おお~というため息にも似た感動の声が広がりました。

本校の卒業生 森川芽衣さんが聖火リレーのランナーとして参加、その時のトーチを貸してくださいました。トーチは、上から見ると桜の花びらの形をしています。5つの花びらから生まれた炎がうずをまいてひとつになる、世界がひとつになるという意味がこめられているそうです。各教室でも披露させていただくと、間近で眺めたり持ったりして、子どもたちは大喜びでした。素晴らしい機会をいただき、本当にありがとうございました。

## 1年生と仲良くなる会 5/26



この会は、毎年6年生がリーダーとなり、入学した1年生と仲良くなるために、レクレーションを企画・運営する、三宅小の伝統行事です。例年は「迎える会」ですが、感染状況を考慮し、開催時期を遅らせて「仲良くなる会」として行われました。1年生の自己紹介のあと、6年生が考えたゲームをして楽しい時間を過ごしました。こうした活動を通して、どんどん絆が深まってほしいと思います。

## 地域との連携、地域の方に学ぶ



5/20 1・2年生は学校の畑にさつまいもとトウモロコシの苗を植えました  
↑今、どんどん大きくなっています



6/17 3年生は大豆の種まきと落花生の苗植え この苗は昨年の3年生が植えた落花生からできた苗、命を受け継ぎます



4年生発表 白ねぎの苗植えの様子を各学年に向けて発表しました



6/17 5年生田植え 苗は「はぶたえ」です



↑ 5/29 6年生 たんぼアート田植え 今年は嶺南ミカミちゃんです

これから観察を続けながら大切に育てていきます。秋には収穫、そして11月の三世代交流祭りでの販売を予定しています。公民館のみなさん、地域ボランティアの塚本隆さん、恵美子さん(仮屋)、松宮吉彦さん(井ノ口)、河原耕一さん(天徳寺)、名水うりわり農園の皆さん、たいへんお世話になり本当にありがとうございます。今後ともご指導よろしく願いいたします。

## 4年生 小浜市クリーンセンター見学 (小浜市谷田部) 6/16



社会科見学で、毎年、4年生が見学をさせていただいています。燃やせるゴミの処理について教えていただいたり、クレーン操作の様子を間近で見せていただいたりしました。子どもたちは、考えてきた質問だけでなく、見学したことで疑問に思ったことを質問するなど、たいへん意欲的に参加することができました。2年後には、若狭地域のゴミはすべて、高浜町に新設される施設で処理されるそうです。

今年も、地域のいろいろな施設を訪問し、学習をさせていただきます。関係者の皆さま、どうぞよろしく願いいたします。

## スクールカウンセラー 岡先生 今年もよろしくお願ひします

5月28日、スクールカウンセラーの岡毅起(おかたけき)先生が来校され、全校集会であいさつをしてくださりました。各教室も回っていただき、子どもたちの授業の様子を見ていただきました。月1回、本校を訪問されます。子どもたちはもちろん、ご家庭でも心配な事などありましたらお気軽にご相談ください。

心身ともに疲れが出てくる頃かと思えます。子どもたちの健康には十分注意をしながら、指導をしていきたいと考えています。

